

戸主との續柄について見れば不在家族員が自ら戸主であるかまたはその長男である場合は、男子總數の1%にあたる。

不在家族員の教育程度は、男子は高小卒が多く女子は尋小卒が多い。性による教育程度の差はかなり甚しく、且階級による差も明瞭である。

不在家族員の流出當時の年齢は男女ともに一五—一六才を最高としてその後分布してゐる。

不在家族員の行先及び職業をみるに、男子は職工及び商店が同數にして最も多く、これらは大部分が東京市及び縣内各市に出てゐる。女子は女中になるものが圧倒的に多く、これもその大部分は都市に集つてゐる。これらの主要職業は自作からも小作からも多く集つてゐるがそれ以外の職業にあつては、例へば男子に於ける作男、人夫、職人、女子における作女、子守等の下級職業には小作農の子女が多く、サラリーマンの職業は自作農及び非農家の子弟に多い。

財團法人日本労働科學研究所

昭和十五年年度研究項目

財團法人日本労働科學研究所に於ては昭和十五年二月所員會議に於て本年度研究項目を左の如く決定した。

昭和十五年年度研究項目

一、體力問題

(訓練、體力評價、文化的評價)

二、労働生理

- 1 基礎新陳代謝
- 2 労働時間問題
- 3 血液ガス
- 4 肺胞氣竝に搏出量

5 感覺生理

6 農業労働精力學的研究

三、労働生理

四、労働生理

1 疲労と條件反射

2 自律神經機序と血液CaKとの關係

五、産業心理

1 技能の要因に關する分析的研究

2 技能習熟の能力竝に過程に關する研究

3 技能に於ける性格の意義及検査方法の研究

イ、各種作業力検査の設定

ロ、性格と作業能力との關係に關する研究

六、體質及性格

1 性格異常者の體質的特徴

2 性格形成及再形成に關する研究

七、作業心理、災害

1 作業と感覺の問題即ち作業に必要な知覺を心理學的に研究する

イ、工場災害發生の原因(聽覺、觸覺、運動感覺等に基く知覺と作業特に災害との關係を明らかにする)

ロ、作業と照明(明るさの物體の影、色彩に基く知覺と作業との關係を明かにする)

ハ、腦波(BKG)と作業との關係、主として實驗的研究

2 作業研究

イ、作業と音響

ハ、作業と音響

イ、基礎になる雑音を合成して標準をきめること

ロ、雑音を聞きわけける耳の訓練について

ハ、基礎になる雑音を合成して標準をきめること

九、環境

1 輻射熱の人體機能に及ぼす影響

2 作業と作業から起る雑音との關係に就て

3 氣候と人體機能との關係

4 有害ガス分析標準法の確立

5 物理的條件を利用せる瓦斯分析器の組立竝にその性能試験

六、労働者の住宅及工場建築

1 煙箱法による工場形態と換氣方法に關する模型實驗

2 水槽による外氣流が工場形態により室内氣流に及ぼす影響についての二次元的模型實驗

3 Coverを設置せる Rayon or Staple Fiber 紡絲機の Section 狀況と Cover 内部に於ける氣流狀況についての Full Size の模型實驗

4 以上諸實驗に關する物理的基礎實驗

十一、職業病

1 有害物質による健康障礙の實驗的研究

(一) デニトロクロールベンツォールに關して

イ、皮膚吸收度(就中發汗との關係) 病理組織學的研究

ロ、造血管の病理組織學的研究

ハ、メタヘモグロビンとビタミンC 硫化物

イ、造血管の病理組織學的研究

ロ、腦髓の病理組織學的研究

ハ、副腎變化に就て 病理組織學的

生物學的

ニ、硫酸噴霧の影響（硫酸水素による前眼炎に對して）

ホ、硫化水素皮膚炎に就て

2 作業と結核發生との關聯に關する研究

作業に於ける結核發生契機についての實驗的研究

3 作業と齒牙疾患の病理組織學的研究

イ、齒牙酸蝕症の豫防法

ロ、齒牙酸蝕症の補綴材に關する研究

4 實地調査

イ、三池染料工業所、職業性疾患（特にベンツォル誘導體）の際に於ける尿の化學的變化

ロ、水銀中毒例に於ける臨床的、血液型態學的並に生化學的所見と環境との關係

ハ、四谷夜間商業竝に印刷局

十二、榮衰の研究

1 作業能力を保持する爲筋肉勞働時の血液の化學的諸成分の變化を追及し特に疲勞との關係につき研究を進める

2 勞働の無機質代謝

十三、家事作業の研究

1 室所、炊事作業の研究

2 洗濯、掃除、裁縫作業の研究

十四、

A 農業勞働及び經營に關する調査研究事項

1 農業勞働方法に關する調査研究、特に養蠶勞働、製絲勞働、田植勞働等の手作業に關する調査研究

2 農業勞働組織に關する調査研究、特に共同作業の組織形態運營方法、その成果に關する調査研究

3 農業經營の動向及びその合理化に關する調査

研究

4 農業勞働力と工業勞働力の調査に關する調査研究

B 農村生活關係

1 生計費特に最低生活費に關する調査研究

2 農村生活に必要な社會施設に關する調査研究

3 部落團體統制に關する調査研究

C 農村の保健に關する研究

1 人口統計的研究

2 賃金問題

3 勞働時間問題

4 中小工業に於ける人及び生産技術の問題

5 婦人及び少年勞働（經濟及び文化現象の問題）

なほ同研究所が農村關係問題の調査に使用する基本調査票は次頁の如くである。

財團法人中央社會事業協會社會事業研究所昭和十五年度事業計畫

（抜萃）

一、繼續的研究

(イ) 社會事業ノ分類體系ニ關スル研究

(ロ) 社會事業ノ史的研究所竝史料ノ編纂

一、室町徳川時代ノ社會事業史實ノ研究

二、明治時代ニ於ケル醫療保護事業發達史ノ研究

三、社會事業史料ノ蒐集竝編纂

都市社會事業ノ研究——東京市京橋區ヲ實驗地區トシ、救護、醫療保護等、區ヲ單位トスル綜合社會事業ニ關スル研究ヲ行ヒ、都市社

會事業ニ關スル研究ニ資ス。

(ニ) 農村社會事業ノ研究——本年度ハ新タニニヶ所ノ實驗地區(村)ヲ指定シ、之ヲ通ジテ全國ニ於ケル各種團體ノ行フ農村社會事業ニ關スル比較綜合的研究ヲ行フト共ニ、農村ニ於ケル各種行政、經濟文化等ト社會事業ニ關スル關係ノ基本事項ニ付キ研究セントス

(ホ) 社會事業各種法律施行狀況ニ關スル研究

(ヘ) 社會事業語彙辭典ノ編纂

(ト) 海外社會事業ニ關スル研究

二、年次的研究

(イ) 當面ノ社會事業方針決定ニ關スル研究

(ロ) 私設社會事業團體經營事情ニ關スル研究

(ハ) 兒童保育事業施設ノ研究——兒童保護ノ中心的事業ニシテ且ツ人的資源保持涵養ノ見地ヨリシテ重要ナル乳幼児保育事業施設ニ付キ調査研究セントス。

(ニ) 家内工業従事者ノ生活事情ニ關スル研究——家内工業従事者ノ生活事情、特ニ之ガ世帯ノ婦人竝兒童ノ保護狀況ヲ調査研究セントス。

三、社會調査連絡會ノ開催

四、社會事業研究發表會ノ開催

五、社會事業文獻ノ選奨

六、社會事業叢書ノ刊行

七、圖書室ノ管理

八、雜誌「社會事業」ノ刊行

九、社會事業従事者ノ養成

(イ) 社會事業従事者養成所ノ經營

(ロ) 社會事業従事者練習事業ノ施行

